

主要な分析結果

1. 職員の質と個別サポートへの圧倒的な高評価

お子様への接し方や、通所するお子様自身の安心感に関する項目では、**平均スコアが4.00点(満点)**に達しており、職員の質と個別支援の高さが事業所の最大の強みであることが明確に示されています。

- 満点(平均スコア 4.00点 / 肯定的回答率 100%)の項目:
 - Q20. 職員は、本人の気持ちに寄り添ってサポートしてくれていると感じますか
 - Q36. お子さんは、安心して通所していますか。
- 満点に近い高評価(平均スコア 3.91点 / 肯定的回答率 100%)の項目:
 - Q28. 定期的に面談や子育ての相談・アドバイスなどのサポートを受ける機会がありますか。
 - Q25. 日々の支援内容やお子さんの様子について、職員から丁寧に説明や共有がされていますか。

2. 改善の余地がある「交流機会」と「情報周知」

全体平均と比較してスコアが低く、特に**肯定的回答率が81.8%**と唯一90%を下回った2つの項目は、今後のサービス向上に向けた具体的な焦点となります。

- 最も低い評価の項目:
 - Q29. 保護者同士が交流したり、情報を共有できる機会があると感じますか。
(平均 3.27点 / PRR 81.8%)
 - 示唆: 保護者間の交流機会を増やす、または情報共有の場を設けるなど、コミュニティ構築の側面でニーズがある可能性があります。
 - Q31. 事業所では、防災や緊急時対応の訓練が行われていることを知っていますか。(平均 3.27点 / PRR 81.8%)
 - 示唆: 防災・緊急時対応の取り組み自体への不満というよりは、保護者への周知・情報提供の頻度や方法を改善することで、安心感を高められる可能性があります。

3. 組織運営と環境整備における相対的な課題

個別支援の質は満点でも、事業所運営の仕組みや環境に関する一部の項目で、平均スコアがわずかに落ち着く傾向が見られました。

- 相対的にスコアが低い項目（平均スコア 3.55点）：
 - Q5. 必要なときに、お子さんが落ち着いて過ごせる個別スペースがあると感じますか。
 - Q8. 職員同士が意見を出し合いながら支援を進めていると感じますか。
- 示唆: 職員間の連携や意見交換（Q8）は、利用者からは見えにくい部分ですが、質の高い支援を維持する上で重要です。また、個別スペースの確保（Q5）について、より柔軟な運用や利用者への説明が有効かもしれません。

グラフ: 質問別 平均スコア（ほわわ台東）

以下の棒グラフは、全38質問の平均スコアを高い順に示したものです。

- 多くの項目が4点満点に近い高評価ですが、**Q29（保護者交流）とQ31（防災訓練の周知）**が最も低い位置にあることが視覚的に確認できます。

グラフの詳細は、[ほわわ台東 アンケート結果：質問別 平均スコア \(全11件\)](#)をご参照ください。